

数学	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙 東書			
<p>1. 大阪市教育局基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各学年とも、巻末に、「基礎をかためる」という目的で「補充の問題」が、1年は8ページ、2年は8ページ、3年は8ページ、設けられている。また、「補充の問題」の直前には「学びをつなげる」という目的で「〇〇のふりかえり」のページがあり、基礎的な内容から確認できるよう配列され、学力の向上に配慮されている。《⑧》</p>				
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>「数学のまど」と題して発展的な内容を扱ったページが設けられている。例えば、「ルート2が分数で表せない？」や「無限に続く小数」などであり、幅広い知識と教養を身に付け真理を求める態度を養うことに配慮がなされている。《⑩》</p>				
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>3年の「平方根」の章で、ルート2の近似値を求めるときに電卓を使う方法が紹介されており、各領域の内容において、必要に応じ、そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮されている。《⑭》</p>				
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点</p> <p>3年の「平方根」の章で、$\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{ab}$を導くにあたり、具体的に、$\sqrt{2} \times \sqrt{3}$が$\sqrt{2 \times 3}$に等しくなることを示している。「数式の意味を理解できるよう配慮されている」選択基準通りの工夫がなされている。《⑰》</p>				
<p>5. 外的要素に関する観点</p> <p>3年の「式の計算」の章で、素数を求めるのに「エラトステネスのふるい」が紹介されている。さし絵で、1～100まで記された図版と、あわせて載せてある「ふるい」のイラストも形状が視覚的にとらえやすいものであり、合成数がふるい落とされるイメージがつかみやすく、さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切である。《⑳》</p>				
<p>6. 構成・配列に関する観点</p> <p>1年の「図形」領域で、作図の方法が「垂線」、「垂直二等分線」、「角の二等分線」の順に配列されていて、交わる2円の位置関係をもとに系統立てて説明されている。《㉑》</p>				
<p>7. 資料その他に関する観点</p> <p>図・表・さし絵・写真・統計資料などは、信頼性のある適切なものが選ばれている。《㉒》</p>				

数学		教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
大日本					
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各学年とも、巻末に、該当学年の復習という目的で「まとめ」の問題が、1年は7ページ、2年は7ページ、3年は14ページ、設けられている。特に、3年では「基本のたしかめ」から「練習」そして「総合問題」と段階的に取り組めるように配列されていて、基礎的な内容から発展的な内容まで確認できるよう配列され、学力の向上について配慮されている。《⑧》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>3年の教科書で、発展的な内容を扱ったページが設けられている。例えば、「ルート2が有理数でないことを明らかにしよう」や「三角形の重心」などであり、幅広い知識と教養を身に付け真理を求める態度を養うことに向けた配慮がなされている。《①》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>3年の「平方根」の章で、ルート2の近似値を求めるときに電卓を使う方法が紹介され、各領域の内容において、必要に応じ、そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮されている。《⑩》</p>					
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点</p> <p>3年の「平方根」の章で、$\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{ab}$を導くにあたり、具体的に、$\sqrt{2} \times \sqrt{3}$が$\sqrt{2 \times 3}$に等しくなることを示しており、数式の意味を理解できるよう配慮されている。《①》</p>					
<p>5. 外的要素に関する観点</p> <p>3年の「式の計算」の章で、素数を求めるのに「エラトステネスのふるい」が紹介されている。さし絵で載せてある「ふるい」はイラストも形状が視覚的にもとらえやすく、合成数がふるい落とされるイメージも分かりやすく、さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切である。《③》</p>					
<p>6. 構成・配列に関する観点</p> <p>1年の「図形」領域で、作図の方法が、「垂直二等分線」「角の二等分線」「垂線」の順に配列されていて、「角の二等分線」が「直線上の点を通る垂線の作図」の良い導入になっており、教材が系統的に配列されている。《①》</p>					
<p>7. 資料その他に関する観点</p> <p>図・表・さし絵・写真・統計資料などは、信頼性のある適切なものが選ばれている。《①》</p>					

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各学年とも、巻末に、該当学年の復習という目的で「〇年の復習」が、1年は6ページ、2年は7ページ、3年は12ページ、設けられている。また、「〇年の復習」の直前には、前年度までの復習という目的で「〇年の復習」のページがあり、基礎的な内容から発展的な内容まで確認できるよう配列され、学力の向上について配慮されている。《⑧》

2. 教育基本法に基づく観点

3年の教科書の巻末に「課題学習・自由研究」と題して発展的な内容を扱ったページが設けられている。例えば、「放物線はみな相似？」や「三角形の重心ってどこ？」などであり、幅広い知識と教養を身に付け真理を求めめる態度を養うことに向けた配慮がなされている。《①》

3. 学習指導要領に基づく観点

3年の「平方根」の章で、ルート2の近似値を求めるときに電卓を使う方法が紹介されており、各領域の内容において、必要に応じ、そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮されている。《⑥》

4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

3年の「平方根」の章で、ルートa×ルートb＝ルートabを導くにあたり、具体的に、ルート2×ルート5がルート2×5に等しくなることを示しており、数式の意味を理解できるよう配慮されている。《⑩》

5. 外的要素に関する観点

3年の「式の計算」の章で、素数を求めるのに「エラトステネスのふるい」が紹介されている。さし絵で、1～100まで記された図版が載せてあり、さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切である。《③》

6. 構成・配列に関する観点

1年の「図形」領域で、作図の方法が、「垂直二等分線」「垂線」「角の二等分線」の順に配列されていて、教材が系統的に配列されている。しかし、3年の「数と式」領域では、「多項式の計算」、「素因数分解」、「因数分解」、「式の利用」、「平方根」の順で配列されており、多項式の展開と因数分解の学習の間に素因数分解が入っているため、多項式の展開から因数分解への学習については配慮を要する。《①》

7. 資料その他に関する観点

図・表・さし絵・写真・統計資料などは、信頼性のある適切なものが選ばれている。《①》

数学	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
教出				
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各学年とも、巻末に、「たしかめの補充問題」と「実力アップ問題」をあわせて、1年は22ページ、2年は15ページ、3年は20ページ、設けられている。基礎的な内容から発展的な内容まで確認できるよう配列され、学力の向上について配慮されている。《⑧》</p>				
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>3年の教科書の巻末に「自由研究」と題して発展的な内容を扱ったページが設けられている。例えば、「倍数の見つけ方」や「黄金比」などであり、幅広い知識と教養を身に付け真理を求めめる態度を養うことに向けた配慮がなされている。《①》</p>				
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>3年の「平方根」の章で、ルート2の近似値を求めるときに電卓を使う方法が紹介されており、各領域の内容において、必要に応じ、そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮されている。《⑨》</p>				
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点</p> <p>3年の「平方根」の章で、ルートa×ルートb＝ルートabを導くにあたり、具体的に、ルート2×ルート5がルート2×5に等しくなることを示しており、数式の意味を理解できるよう配慮されている。《⑩》</p>				
<p>5. 外的要素に関する観点</p> <p>3年の「式の計算」の章で、素数を求めるのに「エラトステネスのふるい」が紹介されている。さし絵で、1～100まで記された図版と、あわせて載せてある「ふるい」の写真も形状が視覚的に分かりやすく、さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切である。《③》</p>				
<p>6. 構成・配列に関する観点</p> <p>1年の「図形」領域で、作図の方法が、「垂直二等分線」「角の二等分線」「垂線」の順に系統的に配列されている。《①》</p>				
<p>7. 資料その他に関する観点</p> <p>図・表・さし絵・写真・統計資料などは、信頼性のある適切なものが選ばれている。《①》</p>				

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各学年とも、巻末に、練習とまとめの問題である「力をつけよう」が、1年は16ページ、2年は14ページ、3年は18ページ、設けられている。より力をつけるための問題と復習が載せられてあり、発展的な内容を学習したい生徒から基礎的な内容から確認したい生徒まで幅広いニーズに応える内容となっており、学力の向上について配慮されている。《⑧》

2. 教育基本法に基づく観点

3年の教科書の巻末に「数学広場」と題して発展的な内容を扱ったページが設けられている。例えば、「ルート2が無理数であること」の証明方法は、高等学校で学習する方法と全く同じであり、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことに向けた配慮がなされている。《⑩》

3. 学習指導要領に基づく観点

3年の「平方根」の章で、ルート2の近似値を求めるときに電卓を使う方法が紹介されており、各領域の内容において、必要に応じ、そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮されている。《⑨》

4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

3年の「平方根」の章で、 $\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{ab}$ を導くにあたり、具体的に、 $\sqrt{2} \times \sqrt{5}$ が $\sqrt{2 \times 5}$ に等しくなることを示しており、数式の意味を理解できるよう配慮されている。《⑩》

5. 外的要素に関する観点

3年の「式の計算」の章で、素数を求めるのに「エラトステネスのふるい」が紹介されている。さし絵で、1～100まで記された図版上を順に2の倍数、3の倍数を消していった結果が記されており、さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切である。《③》

6. 構成・配列に関する観点

1年の「図形」領域で、作図の方法が、「垂直二等分線」「角の二等分線」「垂線」の順に配列されていて、「角の二等分線」が「直線上の点を通る垂線の作図」の良い導入になっている。《①》

7. 資料その他に関する観点

図・表・さし絵・写真・統計資料などは、信頼性のある適切なものが選ばれている。《①》

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各学年とも、巻末に、発展問題である「ぐんぐんのぼそう チャレンジ編」が、1年は28ページ、2年は28ページ、3年は40ページと十分な量が設けられている。「理工分野」の生徒にとって発展的な問題演習を行うことができ、本校の教育を進めていく上で適切な内容となっている。また、各学年の学習に取り組む前に、それまでに学習した内容を振り返るページも設けられていて、生徒の多様なニーズに応える内容となっている。《③》

2. 教育基本法に基づく観点

3年の教科書に、3年で学習する範囲を超える内容を取り上げた「発展」というページが設けられている。例えば、「ルート2が無理数であること」の証明方法は、高等学校で学習する方法と全く同じであり、幅広い知識や教養を身につけ、真理を求める態度を養うことに向けた配慮がなされている。《①》

3. 学習指導要領に基づく観点

3年の「平方根」の章で、ルート2の近似値を求めるときに電卓を使う方法が紹介されており、各領域の内容において、必要に応じ、そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮されている。《⑤》

4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

3年の「平方根」の章で、 $\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{ab}$ を導くにあたり、命題「Aの2乗=Bの2乗ならばA=Bである」は偽であるが、この命題に $A > 0$ 、 $B > 0$ という条件を付け加えると真となることを利用しており、数式の意味を理解できるよう配慮されている。また、このことは、先の命題が真であることを証明するという高等学校の内容への良い導入にもなっている。《①》

5. 外的要素に関する観点

3年の「式の計算」の章で、素数を求めるのに「エラトステネスのふるい」が紹介されている。1～100まで記された図版も大きく、実際に素数を求める活動に取り組みやすい。また、あわせて載せてある「ふるい」のイラストも形状が視覚的にとらえやすく、合成数がふるい落とされるイメージが分かりやすく、さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切である。《⑤》

6. 構成・配列に関する観点

1年の「図形」領域で、作図の方法が、「垂直二等分線」、「角の二等分線」、「垂線」の順に配列されていて、「角の二等分線」が「直線上の点を通る垂線の作図」の良い導入になっている。また、3年の「数と式」領域では、「多項式の計算」、「因数分解」、「式の計算の利用」、「素因数分解」、「平方根」の順で配列されており、多項式の展開から因数分解への学習がスムーズに行うことができるなど、教材が系統的に配列されている。さらに、高等学校につながる発展的な内容も効果的に取り上げられている。《①》

7. 資料その他に関する観点

図・表・さし絵・写真・統計資料などは、信頼性のある適切なものが選ばれている。《①》

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各学年とも、巻末に、「復習」の問題とまとめの問題である「力をのばそう」をあわせて、1年は20ページ、2年は24ページ、3年は24ページ設けられている。基礎的な内容から発展的な内容まで確認できるよう配列され、学力の向上について配慮されている。《⑧》

2. 教育基本法に基づく観点

3年の教科書の巻末に「数学研究室」と題して発展的な内容を扱ったページが設けられている。例えば、「エラトステネスのふるい」や「黄金比」などであり、幅広い知識と教養を身に付け真理を求める態度を養うことに向けた配慮がなされている。《①》

3. 学習指導要領に基づく観点

3年の「平方根」の章で、ルート2の近似値を求めるときに電卓を使う方法が紹介されており、各領域の内容において、必要に応じ、そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高めるよう配慮されている。《⑨》

4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

3年の「平方根」の章で、 $\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{ab}$ を導くにあたり、具体的に、 $\sqrt{2} \times \sqrt{3}$ が $\sqrt{2 \times 3}$ に等しくなることを示しており、数式の意味を理解できるよう配慮されている。《⑩》

5. 外的要素に関する観点

3年の「式の計算」の章で、素数を求めるのに「エラトステネスのふるい」が紹介されている。さし絵で、1～100まで記された図版が載せられていて、実際に1～100までの素数を求める活動を生徒にさせやすく、さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切である。《③》

6. 構成・配列に関する観点

1年の「図形」領域で、作図の方法が、「垂直二等分線」「垂線」「角の二等分線」の順に配列されており、交わる2円の位置関係をもとに系統立てて説明されており、教材が系統的に配列されている。《①》

7. 資料その他に関する観点

図・表・さし絵・写真・統計資料などは、信頼性のある適切なものが選ばれている。《①》